

EU と中国の新たな知財協力プロジェクトがスタート

2014 年 1 月 23 日

JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州共同体商標意匠庁（OHIM）は、1月22日、EU と中国の新たな知財協力プロジェクトが公式にスタートした旨、プレスリリースを行った。

「IP Key」と題されるこのプロジェクトは、「知財対話」及び「知財作業部会」を補完する技術的協力プロジェクトであり、1999 年から 2004 年にかけて実施された「IPR1」及び 2007 年から 2011 年にかけて実施された「IPR2」に引き続く第三次知財協力プロジェクト。OHIM が実施機関となり、北京に専門家チームも置かれる。欧州委員会によると、「開発」に焦点が当てられていた IPR1 及び IPR2 とは異なり、IP Key はパートナーシップを目的とし、先進国や高所得国との協力の位置づけで資金拠出がなされる。

プレスリリースによれば、1月16日に北京で行われたオープニング・イベントにおいて、OHIM のカンピーノス長官及び中国商務部の張向晨（Zhang Xiangchen）部長助理が基調講演を行った。

また、プレスリリースによると、カンピーノス長官は国家工商行政管理総局（SAIC）の劉俊臣（Liu Junchen） 副局長と会談を行い、TMview（OHIM のオンライン商標検索システム）や TMclass（OHIM のオンライン商標分類ツール）等に関する実施計画に署名を行った。さらに国家知識産権局（SIPO）の申長雨（Shen Changyu） 新局長と会談を行い、Designview（OHIM のオンライン意匠検索システム）等に関する活動計画が話し合われた。

— OHIM のプレスリリースは、以下参照 —

[New EU-China Cooperation on Intellectual Property Rights and bilateral meetings with SAIC and SIPO](#)

— EU と中国の知財協力に関する欧州委員会のペーパーは、以下参照 —

[Bilateral interactions with China](#)

— EU と中国の知財協力に関する欧州知財ニュースは、以下参照 —

[EU－中国の第二次知財協力が閉幕（2011年9月17日）\(PDF\)](#)

(以上)